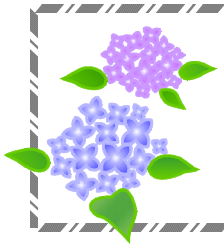

「ＳＡＴ通信」　ＮＯ１

教職支援センター１
令和７年５月２１日発行

学生のみなさん、こんにちは。

令和７年度のＳＡＴ活動が始まりました。教育実習以外で学校現場を体験することは、他大学にはない大変貴重な体験です。このような体験ができるのは、都留市・西桂町両教育委員会をはじめ、ＳＡＴ学生を受け入れてくれる小中学校のご厚意があってのことです。

是非、みなさんには「感謝」の気持ちと「謙虚」な心をもってＳＡＴ活動に邁進してほしいと願います。

さて、みなさんは「ＳＡＴ活動がどのようにして生まれたか」ご存じですか。

ここで、ＳＡＴ活動の歴史を紐解いてみたいと思います。

ＳＡＴ活動は、2003年に文科省委託研究の「放課後学習チューター事業」がその前身で、学生が学習上の指導助言をすることで、児童生徒の学習上のつまずきを解消したり、学習意欲の向上を図ったりするという目的で始まりました。その後、本学が主体となって「ＳＡＴ事業」として継続し、現在では教員免許状取得科目「教育フィールド研究」へと移り変わっています。

みなさんには、「**ＳＡＴ活動は、子どもの学習支援や学習意欲向上のため**」を十分理解した上で、「勉強で困っている子どもにどのような支援をしたらよいか」「どのような声かけをしたらやる気になるか」などを自身の目標に設定し、現場の先生方の指導を仰ぎながらチャレンジしてほしいと思います。

次に、ＳＡＴファイル「活動記録」の記述についてお話しします。

活動記録欄には、ア)「今回の目標・めあて」イ)「活動内容」ウ)「活動の反省」があります。これらは、**その日の「振り返り」をすることが目的です。**

＜ＳＡＴファイルの活動記録＞

ア)「今回の目標・めあて」

目標はどのようなものがよいでしょうか。

①なるべく具体的な行動目標　(具体的でない目標は行動に移しにくい)

②少しの勇気でやれそうな行動目標　(かなりの勇気が必要な場合やる前にくじける)

イ)「活動内容」

自分がどのような活動をしたかを具体的に記します。(目標に対する実際の行動を記す)

ウ)「活動の反省」

どのような**「気づき(学び)」**があったかを丁寧に記します。「気づき(学び)」は、みなさんの成長の証になります。「気づき(学び)」はどのように記せばよいでしょうか。

①目標を実践しての「気づき(学び)」を具体的に記す。

②子どもの様子などから「気づき(学び)」を具体的に記す。

大事なことは、**感想を書く欄ではない**ということです。

「子どもにとって最大の教育環境は、教師自身である」という先哲の言葉があります。

みなさんの成長が、子どもたちの成長に大きく関わっているのです。

みなさんには、ＳＡＴ活動をやりっぱなしで一日を終わることなく、毎回振り返りを通して「気づき(学び)」を大切にしてほしいと願います。